



会より さくら だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第69号 2025年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <https://shinagawa-sakurakai.or.jp>



明けましておめでとうございます

社会福祉法人さくら会

理事長 前田 武昭

旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年（令和6年）4月に介護報酬の改定があり、介護職員等の確保のため加算が設けられました。また東京都および品川区では介護職員等に居住支援特別手当が支給されるようにもなりました。これらの施策により介護職員等の給与水準はかなり上がりましたが、依然として介護職、ケアマネジャーのなり手が少なく、職員採用には苦労しています。

さくら会では国の方針に基づく科学的介護の推進を始め、会計システムなど情報技術の導入にも力を入れていますが、介護の質を確保するために一番重要なのは介護職員等人材の育成にかかっていると言えます。一人ひとりの職員が働きやすい職場となるよう今後も力を入れてまいります。

さて、職員相互および職員と地域の皆さまとの交流の場でもある第20回さくら会まつりを、11月3日に開催しました。昨年同様、飲食を屋外のみとするなど、以前よりは縮小しましたが、多くの方に来ていただきました。

今後も利用者と地域の皆さまに選ばれる質の高いサービスを追求してまいりますので、本年も何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『駄菓子屋うさぎのしっぽ』とスケッター

品川区立月見橋在宅サービスセンター

月見橋在宅サービスセンターでは、地域交流と利用者の「はたらく」をテーマとして、9月から毎月第4水曜日に『駄菓子屋うさぎのしっぽ』をオープンしました。

「いらっしゃいませー」と、店主役の利用者が活気溢れる声で、地域の子供たちを迎え入れています。開催日ではない日に子供たちが来たことも「今日やってないの？」と楽しみに来てくれたことが嬉しく励みになっています。



また企画・運営にはスケッターさんの力をお借りしています。『スケッター』とは、「福祉の助っ人」として介護施設でお手伝いいただける地域住民（有償ボランティア）と施設をマッチングするサービスです。

『うさぎのしっぽ』でお手伝いいただいているスケッターさんにはお金の管理のほか、利用者の意欲や意見を引き出すなどのご協力をいただき大変助けられております。

企画から利用者に参加してもらい意見を伺い形にしていくことで、地域の皆さまに喜ばれる居場所にしていききたいと思えます。

皆さまもぜひ遊びに来てください。スケッターも募集中です。

第20回さくら会まつり開催報告

今年も開催しました！

令和6年11月3日（日）、好天のもと昨年に引き続き、「第20回さくら会まつり」を開催いたしました。

今年も規模を縮小し感染対策に留意しながらの開催となりましたが、森澤品川区長、新井副区長をはじめ沢山の皆さまがご越しくださり、来場者数は約400名と昨年を上回る人出となりました。



オープニングセレモニーの後、会場内では利用者の作品展示、模擬店、縁日コーナー、調理パン、焼き菓子の販売、風車の無料配布等で楽しんでいただきました。

特に園芸・花苗販売の体験コーナーではマグネットに「押し花」の飾り付けをしていただくものでしたが、予定個数を上回る希望者がいらっしやり、人気のコーナーとなりました。

ご支援、ご協力をいただきました品川区、町会、区内他法人の皆さま、ご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

生産性向上への取り組み

南大井在宅サービスセンター

南大井在宅サービスセンターでは生産性向上への取り組みの一環として、3つの取り組みを実施いたしました。

1つ目として、新たに介護ソフトの導入とタブレットを活用して利用者の情報把握を行い、サービスの向上につなげることができました。

2つ目として、10月よりインカムを採用することにより、広い1階フロア内だけでなく地下浴室で対応中の職員とも円滑に情報伝達することができるようになりました。



配膳車からカートに移し
食事・おやつを利用者へ



生産性向上とは、
どれだけの資源（ヒト・モノ・カネ）を
投入した結果、どれだけの成果が得ら
れたか…という「生産性」を向上させる
施策



3つ目として、配膳カートを導入することで、配膳下膳が効率的に行えるようになりました。今後も様々な業務改善を行うことで、サービスの質の向上と職員の負担軽減を図ってまいります。

大井林町倶楽部見学会

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム (大井林町倶楽部)

11月16日に、大井林町倶楽部の施設見学会を開催いたしました。

当日は肌寒い空模様でしたが、地域にお住まいの方、民生委員を含め10名の方が参加されました。

最初に管理者である和嶋が、施設の説明を行い、そのあとは実際に利用者のいる施設内を見学していただきました。

なかなか触れる機会のない、利用者の生の声や表情に触れ、「皆さんとても健やかに過ごされている」「笑顔が多く、とても楽しそうな場所だと思った」などの感想をいただきました。



最後は、所長の横尾が作成した「介護保険〇×クイズ」で盛り上がりました。

参加された方からは「地域の中にこういう場所があるのを知れてよかった。また伺いたい」とうれしい感想をいただきました。今後定期的に見学会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。



非常時持ち出し袋の準備は

できていますか？

今回は災害時に使用する非常時持ち出し袋に入れておく物を紹介します。

貴重品や給水袋、救急用品、生活用品等以外に、高齢の方の場合、以下の物があると役に立ちます。

① 嚥下機能に応じた食料や飲料水

嚥下機能が低下している方は、お粥や軟らかく食べやすい介護用のレトルト食品、トロミ剤などを用意しておきましょう。

② おむつ、尿取りパッド

おむつ等は吸収力が高いので、簡易トイレの中に敷くと簡単に処理できます。普段おむつを使わない方でも準備しておくことで安心です。

③ 普段処方されている薬・お薬手帳

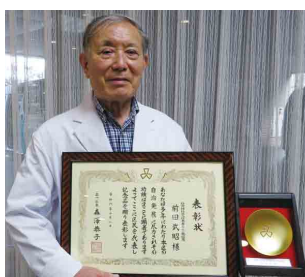
災害時は緊急で普段とは異なる医療機関へ受診することも考えられます。そのような場合に常備薬やお薬手帳を用意しておくことで、普段処方されている薬の内容を伝えることができます。



今回紹介したものを参考に、ご家族と相談しながら、必要な防災グッズを準備しましょう。

理事長 功労特別表彰を授章

令和6年10月1日(火)、大井町『きゅりあん』において令和6年度品川区功労者表彰式が行われ、当法人の前田理事長が自治功労特別表彰(社会福祉法人代表)を授章いたしました。



理事長は、20年にわたり当法人で役職を務めてこられました。これも、行政・関係団体・区民の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

大井第一地区民生委員学習会開催

南大井在宅介護支援センター
南大井第二在宅介護支援センター

12月11日、大井第一地区の民生委員を対象に認知症サポーターレベルアップ講座を開催しました。

37名の民生委員が参加され、講義や寸劇で「認知症の方と地域で暮らす方々への関わり」を検討しました。

「ご本人の意思を丁寧に聴くことが重要」「認知症は特別ではなく誰もが発症する可能性がある。認知症となっても地域で暮らす方法を在宅介護支援センター等と話し合いたい」等、活発に意見交換がなされ、大井第一地区の民生委員の皆さまの熱意とひたむきさを再認識する会となりました。

民生委員の皆さまには、日頃のご尽力に感謝申し上げますと共に、地域共生社会の実現に向け、これからも努めて参ります。



連載No.23

専門職に聞く……

総務部
事務職 原田 暁

Q1・仕事の内容

今回は『専門職』にあたるのか？はさて置き、総務部庶務係についてご紹介いたします。

庶務係では、文字通り、職員が用いる消耗品や備品の発注・管理・配布等の他、毎月の給与・社会保険事務人事・労務事務、職員採用活動、各種証明書発行、各種職員相談窓口等、職員に関する幅広い業務を担当しています。

Q2・専門職として心掛けていること

月次・年次の業務を期日通り行うことは当然ですが、職員一人ひとりがより働きやすく、より働き甲斐をもつて活動できる環境を整えられるように努めています。

Q3・利用者、読者に向けてメッセージ

利用者と直接対応する機会は少ないと思いますが、さくら会が皆さまにとつてより過ごしやすい施設となるように、すべての職員とともに努力してまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

次回7月号は
事務職「桑原 正幸」さんの登場です！



さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和7年7月です。